

学習課題一覧表

各グループの学習課題と学習計画を一覧表としてまとめ、それぞれを把握するために使用する。この作業を通して、各グループに対する活動中の働きかけのあり方を明らかにする。

「創作」チームのめあて・取り組むこと

グループ 場面	めあて	取り組むこと
平和な 世の中	☆ 明るくする感じとおどるような感じと、楽しく遊ぶような感じをみんなで出すために、次のような工夫をしてリズムをつくる。 ○おどる：最初はゆっくり。だんだんはやくする。 ○明るく：太鼓のまわりのへんを出す。(叩く音を多くする。) ○楽しく遊ぶ：はねるようにたたく。 ☆ 一人が進めていくんじゃなくて、みんなでリズムを出し合ってやる。	①「明るく」のリズムを長くする。 ②そのリズムをかんぺきにする。 ③「おどり」のリズムを出し合う。 ④そのリズムを合体させたり、ふやす。 ⑤そのリズムをかんぺきにする。 ⑥二つを通して、かんぺきにする。
デビル・サターンの登場	☆ こわい感じにする。 工夫：音の大・小をはっきりさせる。強いよさと弱いよさをわかること。 音と音のつながぎを工夫しよう。 ☆ 家で考えてきたことを、もっと話し合っ、いいリズムにしたい。そして、リズムもがったいし、くりかえしなどもつけ足し、どんどん進めていく。それは、自分にまけないために、今のせいいっぱいをこえた、せいいっぱいで取り組む。	①デビル・サターン登場チームのそうだん ②デビル・サターンのこわいところチームとそうだん ③聞き合う ④もっともったのそうだん(いいふうにできるように) ⑤がったい
人々をおそう手下たち A	☆ リズムを一つでもいいから、グループ全員が、完ぺきにする。→自信 ☆ 本当におそろしく、こわいリズムにする。→その場面に合わせるために。 ☆ 音の大きさ、くりかえし、木の部分をたたくところを工夫する。	①「おそろしく」と「こわい」を合わせる。 ②一人練習 ③「おそろしく」と「こわい」を聞く。 ④考える。→くりかえし・工夫・何回 ⑤みんなで練習 ⑥合わせる。
人々をおそう手下たち B	☆ リズムがあんまり考えられなくて、少なかったから、もっとリズムがいっぱいになるようにしたい。それと、あんまり悪そうではない音だったから、もっと手下っぽい悪さの音を次はできるようにしたい。そのために、大きい音と小さい音を組み合わせて、ぶきみな感	①つくったリズムをできるようにする。 ②そのリズムのくり返しを考える。 ③もっと悪そうな音をつくる。 ④そのリズムを発表する。

	じを出す。それと、手下が近づいてきて、攻げきしてくるような感じにするために、小さい音から大きい音にして、さいごは、攻げきしたように、ドンと入れる。	⑤そのリズムを覚える。
立ち向かう勇者A	☆ チームで決めたリズムを、少しでもできるようにし、打っていない人もリズムを数えたり、勇者の強いリズムも加えたりして、少しでも打てるようにする。 ☆ 工夫する所 ○最後の所を大きい音でうつ。 ○勇者の強いリズムを、大きな音で速くする。	①リズムを覚える。 ②みんなで合わせる。 ③最後のへんを大きい音にする。 (速くする。) ④合わない事を話し合う。
立ち向かう勇者	☆ 前の時間よりたった一つでもいいから、ハラハラ・ドキドキするようなリズムをつくる。 ☆ つくったら、今度は合うリズムをさがして合体させる。一つでもふえると、重ねることができるから。合体させることによって、そのリズムが、もっとよくなるから。	①リズムの工夫（これを何回やるとか、どのリズムを小さい・大きい音にするか） ②合体させる。 ③たたき方の工夫（どこをたたけば、いい音になるかとか）
立ち上がる人々	☆ 勇気を出すようにしたいから、 ○強い・大きい・速いリズムをあと一部分完成させ、みんなで打ってみよう。 ○教え合って、みんなで打ってみよう。 ○一人一人のリズムをつなげよう。 ○みんなの心を一つにしよう。 ○工夫するところ：リズムを速く長く。打つのは、力強く。	①大きい・強い・速いリズムをつくる。 ②リズムを組み立てる。 ③リズムを教え合う。 ④リズムを練習
取りもどした平和A	☆ 楽しい気持ちや元気な気持ちが、きいている人に分かるように、はっきり、楽しく、元気よくたたこう！（はずむような）（大きな音）	①楽しく元気な気持ちを太鼓でどう表すか。 ②工夫をしながら組み合わせる。→つなぎ方をへんなふうにしない。 ③大きい音と小さい音をはっきりさせるために練習 ④何回もうってみる。→みんなができるまで続ける。 ⑤みじかいと思ったら、つけたす。きいている人があきないようにつけたす。 ⑥つけたしたのも合わせて、みんなができるようにする。 ⑦全部つづけてみる。
取りもどした平和B	☆ 取りもどした平和チームで、（もりあがる）楽しい感じを出したいから、はやいのとゆっくりのを組み合わせ、大きい音でもりあげたい。それと、明るい音を出すために、太鼓の木の所をたたく。	①ゆっくりとはやいに分かれて、べつべつにリズムをつくる。 ②合わせてみる。 ③ここは4回やるとか、2回やると決める。 ④これをまた合わせる。 ⑤時間があったら、またいっぱいつくる。